

# MISAWA

MISAWA



この印刷物は、環境に配慮し、適切に管理された森林資源を用紙の材料とし、VOC(揮発性有機化合物)の発生が少ないベジタブルインクを使用しています。



証券コード 1722

## 第9期 株主通信

平成23年度 事業のご報告(中間)  
平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

ミサワホーム株式会社

## コーポレートスローガン

私たちミサワホームグループは「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、良質の「住まい」を提供し、豊かな社会づくりに貢献します。

## 経営理念

安全・快適で環境を重視した家づくり、街づくりを行います。  
法令を遵守し、倫理を重んじて誠実に行動します。  
地球全体を視野に入れ、環境保全活動などを行い、社会に貢献します。  
企業価値の向上に努め、長期安定的な成長により、ステークホルダーとの共存共栄を実現します。  
グループ社員が相互に信頼し、協力し合って能力を発揮できる職場をつくります。  
適正な財務報告・情報開示と適切なリスク管理を行います。

### CONTENTS

コーポレートスローガン、経営理念、 平成23年度上半期の業績	1
ごあいさつ	2
新中期経営計画について	3
被災地復興のために	5
トピックス	6
MISAWAテクノロジー	7
新商品	8
CLOSE UP	9
業績の推移	10
連結財務諸表	11
会社情報	13

表紙の写真：平成23年10月発売の木質系戸建住宅SMART STYLE「E」(スマートスタイル・イー)より。プラスワンの運用でキッチン南側を拡張し、「サンルーム・ダイニング」として陽光の気持ちいい空間を実現しています。

### 平成23年度 上半期の業績

売上高

**1,826** 億円  
前年同期比7.6% ↑

経常利益

**48** 億円  
前年同期比50.7% ↑

最終利益

**36** 億円  
前年同期比821.1% ↑

## 新中期経営計画に基づき 収益を確保し、更なる企業価値の 向上に努めてまいります。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当上半期の住宅業界は、東日本大震災の影響や住宅エコポイント制度終了による消費者マインドの低下が懸念されましたが、住宅ローン減税等の需要喚起策の効果もあり、新設住宅着工戸数は堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは、震災被災地の復旧・復興を最優先に、応急仮設住宅の建設や被災者に向けた復興応援住宅の提供など、グループの総力を結集して復興支援に取り組みました。その一方で、今期の業績目標の達成に向け、戸建住宅事業などのフロー事業においては収益の向上を図り、リフォーム事業、不動産流通事業、ライフサポート事業などの成長が見込まれるストック事業においては積極的に経営資源を投入し、収益源の拡大を図りました。その結果、平成23年度上半期の業績は、売上高1,826億円、経常利益48億円、最終利益36億円となりました。

震災発生以降、日本人の住まいや暮らしに対する考え方は大きく変わりました。下半期は、こうした価値観の変化を踏まえ、「エコ・微気候デザイン」や「カスケードソーラーシステム」など、独自の技術を活用した「スマートハウス」を積極的に提案してまいります。また、これまで培ってきたまちづくりのノウハウや環境技術を生かし、エネルギーを効率よく利用する先進的な取組みである「スマートコミュニティ」形成事業への参画も推進してまいります。さらに、



代表取締役 社長執行役員

竹中 宣雄

新築市場の縮小に備えては、リフォームや中古住宅市場への取組みを引き続き強化するとともに、介護施設の運営や家事代行サービスの展開を加速させるなどストック事業全般において一層の強化を図ってまいります。

なお、震災の影響で公表を延期しておりました新中期経営計画については、事業戦略、計数目標等を見直し、本年11月に公表いたしました。当社グループは、この計画に基づき全事業分野で収益を確保すべく「既存事業の収益最大化」と新規事業の収益化による「収益源の多角化」を目指し、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

当期の中間配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主・投資家の皆様には、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

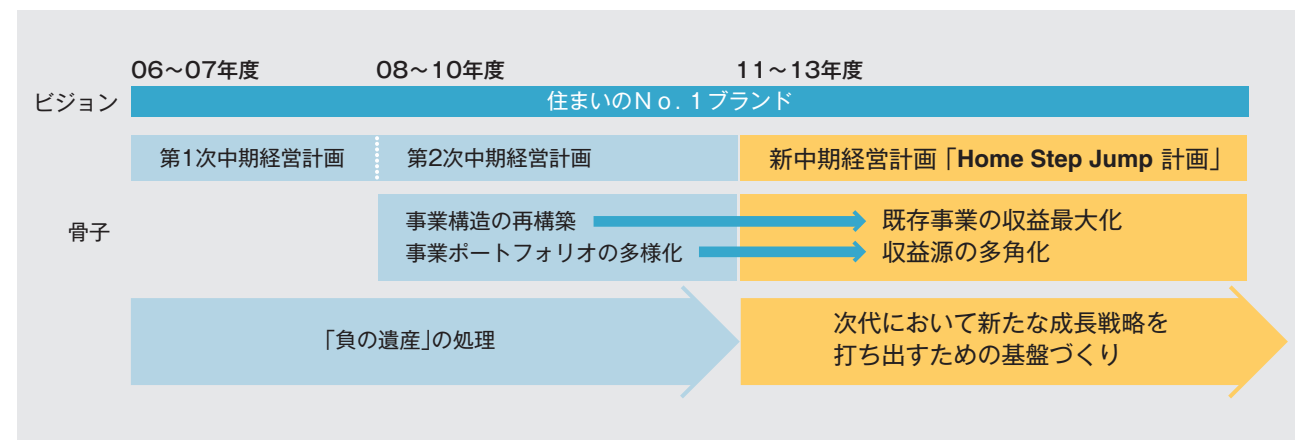
平成23年12月

# 新中期経営計画について

当社グループは、2013年度を最終年度とする新中期経営計画「Home Step Jump 計画」を策定しました。新中期経営計画「Home Step Jump 計画」では、本年3月に終了した前中期経営計画の基本的な骨子を踏襲し、企業価値の向上を図りながら『住まいのNo. 1ブランド』を目指します。

## 新中期経営計画の位置付け

前中期経営計画では、生産性の向上や総原価低減などにより損益分岐点を引き下げる「事業構造の再構築」と、主力の戸建住宅事業への過度な依存を見直し、新規事業の開拓によりリスク分散を目指した「事業ポートフォリオの多様化」を骨子として様々な施策を実施してきました。新中期経営計画では、この計画の実行期間を「次代において新たな成長戦略を打ち出すための基盤づくりの期間」と位置付け、全事業分野で収益を確保する「既存事業の収益最大化」と新規事業の収益化による「収益源の多角化」を目指します。



## 数値目標

	2010年度(実績)	2011年度	2012年度	2013年度
販売棟数	8,840 棟	9,550 棟	9,800 棟	10,400 棟
売上高	3,413 億円	3,780 億円	3,930 億円	4,220 億円
営業利益	87 億円	105 億円	105 億円	125 億円
経常利益	78 億円	95 億円	100 億円	120 億円

## 重点施策

既存事業の収益最大化 | 既存事業の売上拡大と業務の効率化・コストダウンにより収益増加を目指します。

	2013年度の目標値	営業戦略
戸建住宅事業	●市場ニーズに合った商品の拡充とラインナップの充実 ●独自技術の融合によるスマートハウス化の推進 ●高付加価値で割安感のある工業化住宅の商品開発 ●専門販売会社設立による木造軸組住宅の販売強化	販売棟数 工業化住宅 8,900棟 木造軸組住宅 1,500棟
戸建分譲事業	●本社内「首都圏開発事業部」新設による東阪名地域での分譲事業の強化 ●分譲キャンペーンの実施や分譲専用商品拡充等による販売会社サポートの強化 ●スマートシティ・コミュニティ形成事業への積極参加	販売棟数 1,200棟
リフォーム事業	●リフォーム営業担当者の増員による販売強化 ●リフォームメニューの訴求とメニュー拡充の推進 ●「地域密着高齢者サポートシステム」の訴求による高齢者対応リフォームの積極展開	営業人員 1,200名 売上高 700億円
業務の効率化・コストダウン	●「設計センター」設置による販売会社の設計業務負荷の低減 ●グループ間で重複している間接業務を一拠点に集中・一元管理するシェアードサービス導入の基盤づくり ●総原価低減の徹底	設計業務を含めた間接部門業務全般を約30%圧縮 原価企画等で3年間に約50億円のコストダウン

収益源の多角化 | 新たな収益源となる事業を引き続き開拓し、育成を図ります。

介護・福祉事業	●大都市圏中心にサービス付き高齢者向け住宅やグループホームなどの運営施設数を倍増	ライフサポート事業	●家事代行サービスの全国展開 ●保育分野での事業化の検討
特建・マンション事業	●ローコスト賃貸マンションの商品開発 ●大規模建築物に対応可能な新構造・工法の開発 ●デベロッパーとの提携による分譲マンション事業への参入	外販事業	●同業他社以外へのサービス提供による物流分野の拡大 ●建材・家具・設備等の外部販売の積極展開
不動産流通事業	●自社物件を買い取り、リフォーム後に保証付きで販売する「ホームエバー」の積極推進 ●「スムストック査定」を活用し、自社物件以外の既存住宅の流通促進	エクステリア事業	●外構・造園専門の展示場出展展開による外構・造園提案の訴求

## その他の重点施策

- 復配、既存優先株式処理に向けた対応検討
- トヨタグループとの連携強化
- 海外事業展開への取組み
- 環境5か年計画「SUSTAINABLE 2015」の推進
- 人的経営資源の強化

## 被災地復興のために

当社グループは、被災地の支援に全力を尽くし、復旧・復興に向けてのお手伝いをしてまいりました。現在もなお、被災地のオーナー様の建物を1棟1棟確認・訪問し、被害を受けた建物については修繕を行っています。



### 1. 被災地におけるミサワホームの建物の状況と取組み

被災地における当社住宅の被災状況は以下のとおりでした。  
(平成23年6月23日現在)

- ミサワホームの建設棟数 — 44,605棟  
(被災地域：震度6以上)
- 地震による建物倒壊 — なし
- 津波の影響を受けた地域 — 約6,150棟
- 津波による流失 — 177棟

国土交通省や被災県からの要請を受け、当社グループでは応急仮設住宅等の建設に取り組みました。  
(平成23年7月31日現在)

- 仮設住宅 — 1,309戸 — 岩手県 719戸
- 集会所・談話室 — 12戸 — 宮城県 194戸
- グループホーム — 1棟 — 福島県 396戸

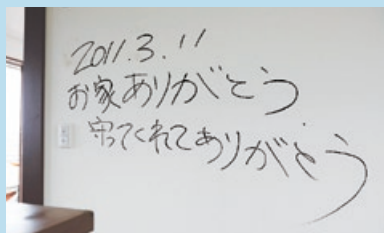
### 2. 震災復興応援住宅「MISAWA HEART 2011」を発売

被災者支援の拡充策として、構造・工法、建物タイプなどバリエーションを増やし、推奨40プランを用意しました。お求めやすい価格にするとともに、着工から竣工・引渡しまでの工期を約2カ月に設定し、東北エリアを中心に発売しました。



▲ MISAWA HEART 2011

#### オーナー様の声 宮城県亘理郡 O様 (築3年)



自宅の壁に記されたメッセージ

(略)…私たちは地震後、安全な場所に避難していましたが、親父は犬が心配だからって家に戻っちゃったんですね。そして津波が来てしまったんです。でも、2.5階の寝室まで逃げて助かった。2日間閉じ込められましたけど。最初の日には携帯が繋がったのですが、2日目は連絡がとれませんでした。水もまったく引かなくて、ボートで助けてもらったんです。ここは住宅密集地でしたが、うちだけがポツンと残りました。あとから聞いた話ですが、家の周りで渦が巻いていたみたい。よくこの場所で家残ったなって言われます。…(略)

## トピックス



▲ HYBRID「scena」

### 22年連続でグッドデザイン賞を受賞

鉄骨系戸建住宅HYBRID「scena」をはじめ、住まいと暮らしの様々な分野で2011年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

これにより、1990年に初めて受賞して以来、業界唯一の22年連続、通算112点の受賞となりました。

当社グループは、引き続き建物や住宅部品の品質・性能の向上を図っていくとともに、優れたデザインの商品やサービスを開発し、お客様に「安心・安全・快適」な住まいを提供していきます。

今年度の  
受賞商品等

鉄骨系戸建住宅HYBRID「scena」、生活エネルギーのネットワークサービス「enecoco」、在宅介護のトータルサポートシステム「地域密着型高齢者サポートシステム」、南極昭和基地「自然エネルギー棟」

### 住まいづくりのテーマパーク「ミサワファクトリー名古屋」がオープン



住まいの地震対策コーナー



ECOな住まいづくりコーナー

住まいの先進技術や基本性能、デザインなどについてより身近に感じることで理解を深めてもらえるよう、体験・体感型施設を全国で展開しています。東京、岡山、福岡に続き4カ所目となる「ミサワファクトリー名古屋」は岡山、福岡と同じくミサワホームの部材生産工場に併設されており、楽しみながら住まいづくりについて学んでいただけます。

### 生活エネルギーのSNS「enecoco(エネココ)」をスタート

発電や売電、電気・ガス・水道の使用状況がひと目でわかる表示器にインターネット回線で通信できる機能を搭載しました。これを利用してスマートフォンなどで省エネ活動に取り組める生活エネルギーのソーシャル・ネットワーキング・サービス「enecoco」をスタートさせました。



「耐震」+「制震」。エムジオ

**MGEO**

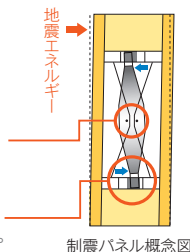
Misawa Governance system for Earthquake Oscillation control

耐震構造に独自の制震装置をプラスして「倒壊ゼロ」だけでなく、内装仕上げ材の「損傷ゼロ」も目指しています。

「制震」とは、日本全国の斜張橋などに採用されている揺れや振動を抑える技術です。当社は住友ゴム工業株式会社と共同研究を行い、平成16年、住宅業界初となる「高減衰ゴム」を採用することでまったく新しい「制震装置」を完成させました。

揺れを制御するしくみ

- 地震が発生すると、地震のエネルギーが建物にかかる。
- テコの原理を応用して、変位拡大機構が地震のエネルギーを制震ダンパーに効果的に伝える。
- パネル上下の制震ダンパー部の「高減衰ゴム」が伸縮し、地震のエネルギーを熱エネルギーに変換して、揺れを制御。



## 制震装置「MGEO」で、地震エネルギーを最大約50%軽減

当社が開発した独自の制震装置「MGEO」は、地震エネルギーを最大約50%軽減します。その効果を検証するために行った実大震動実験において、阪神・淡路大震災レベルの揺れを加えた建物の変形量はわずか8.2mm。さらに阪神・淡路大震災の2倍レベルの揺れなど、13回の連続する巨大地震をはじめ、合計39回もの揺れの実験を行っても、構造体の損傷はもちろん、内装仕上げにも目立った被害はありませんでした。



## 耐震構造+「MGEO」で地震の揺れ、台風の強風に高い効果

地震エネルギーなどの震動を感知し、低減させるために制御する地震対策技術である制震は、交通震動のような小さな震動、地震のような大きな震動、ビルの風揺れのようなゆっくりした震動など、どのような震動でも吸収できます。ミサワホームの耐震構造の住まいに制震装置「MGEO」をプラスすれば、大地震はもちろん、瞬間風速60m/秒という室戸台風レベルの強風にも高い効果を発揮します。

また、在来木造住宅のリフォーム用として「MGEO-R」を開発し、ミサワホーム以外の建物にも設置できるようにしました。当社グループは、今後も「MGEO」の普及に努めていきます。

これからの日本の暮らし方を実現できる住まい

スマートスタイル

## SMART STYLE E

木質系戸建住宅SMART STYLE「E」は、地球・まち・ヒトへの思いやりを新しい暮らし方とともにデザインしました。「エネルギー」「快適」「安心」「将来」をキーワードに、独自の先進技術や蓄積したノウハウを豊富に盛り込んだ新しいスマートハウスです。主な特長としては、①自然エネルギー利用の独自の「ECO・微気候デザイン」、②「太陽光発電システム」や「カスケードソーラーシステム\*」の搭載、③蓄電池の装備、④enecocoモニターの設置、⑤制震装置「MGEO」の設置などで、これらは防災対策にも効果を発揮します。\*カスケードソーラーシステムとは、太陽光発電と太陽熱利用を一体化したシステムのことです。



大きなゆとり、大きな安心、大きな快適

## HYBRID KURA Select

ハイブリッド クラ セレクト

鉄骨系ユニット工法のハイブリッドシリーズに企画住宅として初めて大収納空間「蔵」を標準装備したHYBRID「KURA Select」。「蔵」をつくることで一般的な2階建住宅と比べ、最大約2.5倍の収納面積を確保できます。また、スキップフロアを活用した「前室」や「ステップライブラリ」により、くつろぎやゆとりの空間を実現しています。このほか「蔵」には備蓄倉庫としての活用も期待できます。



スモールファミリー向けのメゾネット賃貸住宅

ベルリッド ユニゾン

## Belle Lead Unison

ゆとりの空間設計や快適・安全アイテムを搭載することで差別化を図り、長期入居につながる賃貸住宅を提案しています。



“あったらいいな空間”のある戸建賃貸住宅

ベルリッド カシーヤ

## Belle Lead Cassiya

Can style

入居者の多彩なライフスタイルに対応できる空間“Can room”を提案するとともに、「蔵」タイプのプランを用意しました。



## 当社グループは、介護という言葉が定着する以前から、介護が必要な方の住まいに取り組んでいます。

連結子会社の(株)マザアスは、介護付き有料老人ホーム「マザアス南柏」の運営を始めて18年になります。今では小規模多機能型居宅介護やサービス付き高齢者向け住宅など、様々なタイプの介護施設やサービスを手がけています。



▲ 介護付き有料老人ホーム「マザアス南柏」

### 8月に都内3カ所目となるグループホーム「マザアスホームだんらん世田谷」を開設

当社グループの長年にわたる介護・福祉事業の実績が評価され、(株)マザアスが世田谷区から地域密着型サービス拠点整備・運営事業者の採択を受け開設したグループホームです。施工はミサワホーム東京(株)が担当しました。入居者が気兼ねなく安心して生活できる“第二の我が家”を目指し、全館バリアフリー、各部屋にはドアではなく引き戸を使うなど高齢者に配慮した設計で自宅のような住空間を実現しています。



◀ 自宅のようなリビング・ダイニングルーム



### 「第4回オヤノコト.エキスポ2011」に住まいのトータルサポートシステム「住まいるりんぐシステム」を出展

「オヤノコト.エキスポ2011」(主催:オヤノコト.エキスポ開催委員会、後援:経済産業省他)は、高齢の親たちがこれから必要とする生活サポート情報や便利グッズなどを、その子ども世代に対して提供するイベントです。当社はこのイベントに「住まいるりんぐシステム」を出展しました。また、(株)マザアスは、生活支援サービス付き緊急通報装置「押すだけコール」や介護補償特約付き健康総合保険「マザアス・タフ」を紹介しました。

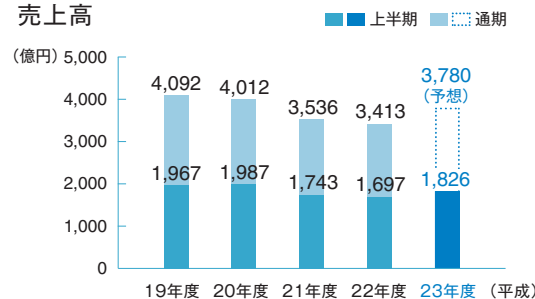


▲ 「オヤノコト.エキスポ2011」当社出展ブース  
◀ 押すだけコール

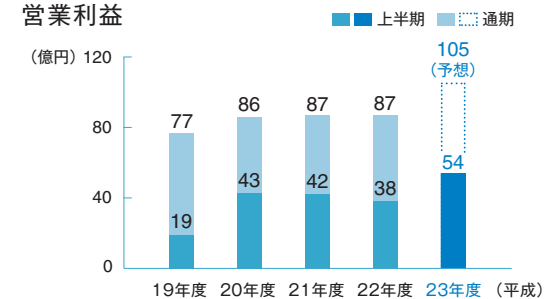
## 財務ハイライト

当上半期の売上高は、1,826億31百万円(前年同期比7.6%増)となりました。利益面につきましては、経常利益は48億75百万円(前年同期比50.7%増)、四半期純利益は36億95百万円(前年同期比821.1%増)となりました。

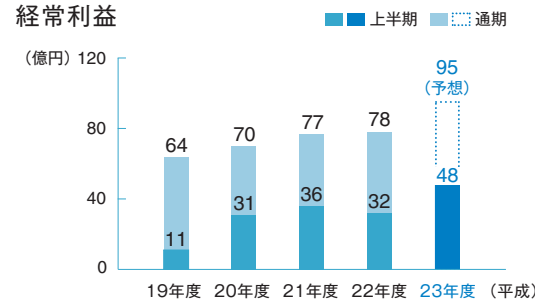
### 売上高



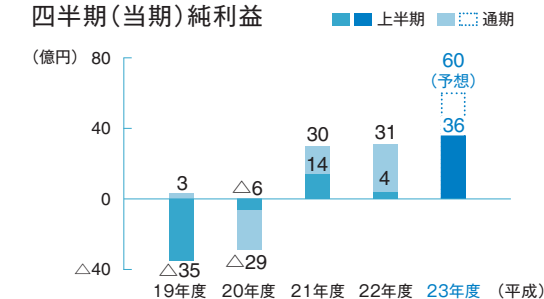
### 営業利益



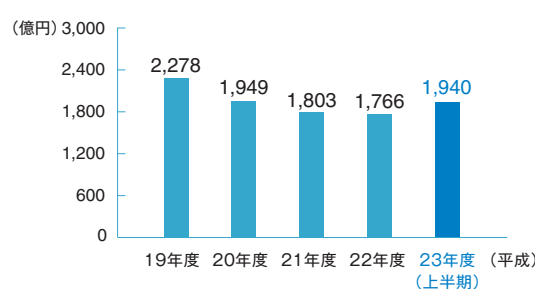
### 経常利益



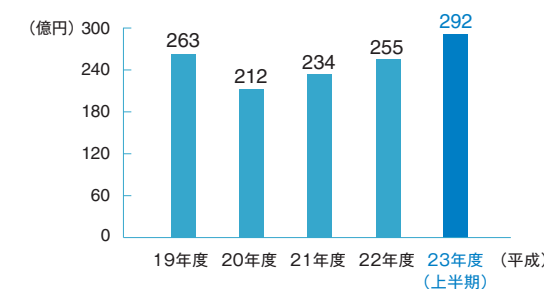
### 四半期(当期)純利益



### 総資産



### 純資産



Point 1

資産及び負債

資産は、前期末に比べ174億円増加し1,940億円となりました。

負債は前期末に比べ137億円増加し1,648億円となりました。これは主に、仕入債務及び未成工事受入金の増加等によるものです。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当上半期 平成23年9月30日現在	前期 平成23年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	131,907	114,302
固定資産	62,141	62,325
有形固定資産	43,792	43,251
無形固定資産	6,101	6,202
投資その他の資産	12,247	12,871
資産合計	194,049	176,627
<b>負債の部</b>		
流動負債	129,546	127,310
固定負債	35,301	23,789
負債合計	164,848	151,099
<b>純資産の部</b>		
株主資本	27,908	24,212
資本金	23,412	23,412
資本剰余金	5,479	5,479
利益剰余金	3,267	△428
自己株式	△4,251	△4,251
その他の包括利益累計額	△572	△530
その他有価証券評価差額金	△13	△38
土地再評価差額金	△448	△448
為替換算調整勘定	△110	△42
少数株主持分	1,865	1,845
純資産合計	29,200	25,527
負債純資産合計	194,049	176,627

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当上半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前上半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	182,631	169,745
売上原価	140,515	130,181
売上総利益	42,115	39,564
販売費及び一般管理費	36,641	35,731
営業利益	5,474	3,833
営業外収益	517	608
営業外費用	1,116	1,205
経常利益	4,875	3,236
特別利益	1,270	441
特別損失	466	3,691
税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	5,680	△13
法人税、住民税及び事業税	801	379
法人税等調整額	1,130	△759
少数株主損益調整前四半期純利益	3,747	366
少数株主利益又は損失(△)	52	△35
四半期純利益	3,695	401

Point 2

売上高

昨年下期より受注が改善したこと等により、前上半期に比べ128億円増加し、1,826億円となりました。

Point 3

営業利益及び経常利益

販売子会社の収益改善及び原価低減、経費削減により営業利益は54億円、経常利益は48億円となりました。

Point 4

特別利益

当社が原告となっていた訴訟の和解成立により、受取和解金12億円を計上しました。

Point 5

営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産の減少、仕入債務及び未成工事受入金の増加等による収入により、前上半期に比べ48億円増加し187億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当上半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前上半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,778	13,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,372	△4,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	606	△2,626
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△21
現金及び現金同等物の増減額	16,994	6,769
現金及び現金同等物の期首残高	36,592	41,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,586	48,179

## 会社の概要

商号 **ミサワホーム株式会社**  
 設立 平成15年8月1日  
 資本金 23,412,999,000円  
 従業員数 単体 685名 連結 8,849名  
 主な事業 住宅開発及び住宅部材の供給

## 事業所

本社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル  
 本館 〒168-8533 東京都杉並区高井戸東二丁目4番5号  
 LACビル 〒168-0065 東京都杉並区浜田山三丁目19番11号 LACビル  
 北海道事務所 〒003-0003 北海道札幌市白石区東札幌三条六丁目1番10号  
 キュラース白石  
 岡山事務所 〒700-0971 岡山県岡山市北区野田二丁目13番17号  
 技能訓練センター 〒300-2724 茨城県常総市古間木1789番4  
 関東資源循環センター 〒270-0217 千葉県野田市はやま1番地5

\*平成23年12月に都内3拠点の事業所を一部の部門を本館に残し、本社に統合する予定です。

## 役員及び執行役員

■取締役  
 取締役会長 立花 貞司  
 代表取締役社長執行役員 竹中 宣雄  
 取締役専務執行役員 西平 均  
 取締役専務執行役員 東海 健生  
 取締役常務執行役員 若月 恵治  
 取締役常務執行役員 平田 俊次  
 取締役常務執行役員 田中 博臣  
 取締役 中神 正博  
 取締役 後藤 裕司  
 常勤監査役 宮森 正和  
 常勤監査役 瓜田 誠治  
 監査役 石坂 佳宏  
 監査役 亀田 修造

■執行役員  
 常務執行役員 下ノ村 秀樹  
 執行役員 阪口 博司  
 執行役員 作尾 徹也  
 執行役員 道官 陽一郎  
 執行役員 内田 和明  
 執行役員 森田 哲之  
 執行役員 横田 純夫

\*取締役のうち、立花貞司、後藤裕司の両氏は社外取締役であります。また、監査役宮森正和、瓜田誠治、石坂佳宏、亀田修造の各氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況

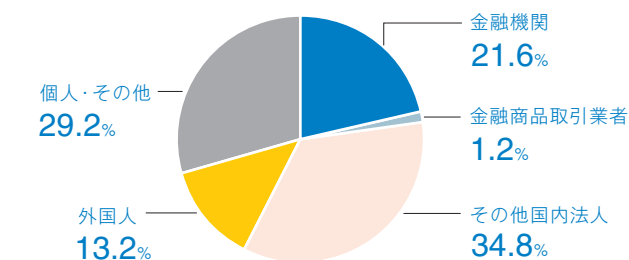
発行可能株式総数	150,000,000株
普通株式	142,160,000株
B種優先株式	4,500,000株
C種優先株式	3,340,000株
発行済株式の総数	46,572,175株
普通株式	38,738,914株
第三回 B種優先株式	333,328株
第四回 B種優先株式	4,166,600株
第一回 C種優先株式	3,333,333株
株主総数	
普通株式	19,099名
第三回 B種優先株式	1名
第四回 B種優先株式	1名
第一回 C種優先株式	1名

## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
普通株式 (上位10名)		
トヨタホーム株式会社	10,784	27.8
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	2,058	5.3
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	1,390	3.6
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口)	1,334	3.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	971	2.5
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505019	899	2.3
株式会社アイ・エル・エス	826	2.1
ミサワキャピタル株式会社	734	1.9
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	646	1.7
日本生命保険相互会社	609	1.6

(注)1. 持株比率は、発行済普通株式数をもとに算出しています。  
 (注)2. 第三回及び第四回B種優先株式並びに第一回C種優先株式は、いずれも株式会社三菱東京UFJ銀行が株主であります。

## 所有者別持株構成



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎事業年度終了後3カ月以内  
 基準日 定時株主総会議決権の基準日 3月31日  
 期末配当受領株主確定日 3月31日  
 中間配当受領株主確定日 9月30日  
 (このほか、必要あるときはあらかじめ公告して定めた日)  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081  
 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
 公告方法 電子公告  
 (当社ホームページ www.misawa.co.jp に掲載しています。)  
 < 株式業務窓口 > ミサワホーム株式会社  
 企画管理本部 総務人事部 総務課  
 TEL 03-3349-8070  
 FAX 03-5381-7835  
 (土・日、祝祭日を除く午前9時～午後6時)

## ホームページのご案内

<http://www.misawa.co.jp>

ミサワホーム 検索

当社ホームページでは、住まいに関する情報をはじめ、IR情報やCSR活動の報告など様々な情報を発信しています。是非一度アクセスしてください。

